

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3147437号
(U3147437)

(45) 発行日 平成20年12月25日 (2008.12.25)

(24) 登録日 平成20年12月3日 (2008.12.3)

(51) Int.Cl.

A 4 1 D 27/20 (2006.01)

F 1

A 4 1 D 27/20

B

A 4 1 D 27/20

N

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2008-7303 (U2008-7303)
(22) 出願日 平成20年10月17日 (2008.10.17)(73) 実用新案権者 500390733
住商モンブラン株式会社
大阪府大阪市中央区北浜四丁目7番28号
(74) 代理人 100059225
弁理士 蔦田 璋子
(74) 代理人 100076314
弁理士 蔦田 正人
(72) 考案者 米津 義孝
東京都中央区日本橋大伝馬町2番7号 日
本橋第一ビル6階 住商モンブラン株式会
社 東京支店内

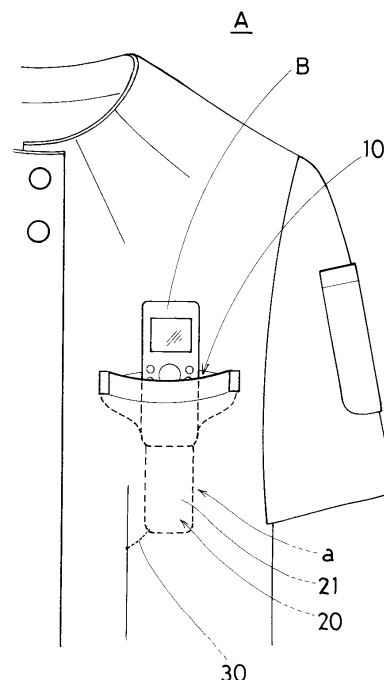
(54) 【考案の名称】 携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】携帯電話機の脱落を防止でき、かつ、携帯電話機の出し入れが容易な携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服を提供する。

【解決手段】衣服Aは、衣服前身頃の胸部にポケットaを備えた衣服であって、該ポケットは、衣服前身頃外側の胸部に形成した開口部10と、該開口部から衣服の内側に連設された収納部20とからなり、該収納部が伸縮性を有する有底の筒状体21にて形成され、該筒状体は、携帯電話機Bを収納するときには筒状体に押し込まなければならない程度にその周長が携帯電話機の周長よりも短く形成され、携帯電話機を収納したときに筒状体の収縮力によって携帯電話機が筒状体に強く把持されて筒状体内でずれ動くことがないように構成し、該筒状体の底部が衣服前身頃内側に紐30を介して縫着されてなるものである。

【選択図】 図3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

衣服前身頃の胸部にポケットを備えた衣服であって、該ポケットは、衣服前身頃外側の胸部に形成した開口部と、該開口部から衣服の内側に連設された収納部とからなり、該収納部が伸縮性を有する有底の筒状体にて形成され、該筒状体は、携帯電話機を収納するときには筒状体に押し込まなければならない程度にその周長が携帯電話機の周長よりも短く形成され、携帯電話機を収納したときに筒状体の収縮力によって携帯電話機が筒状体に強く把持されて筒状体内でずれ動くことがないように構成し、該筒状体の底部が衣服前身頃内側に直接的に又は間接的に縫着されてなることを特徴とする携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服。

10

【請求項 2】

筒状体が筒状ネットにより形成されてなることを特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服。

【請求項 3】

筒状体が防水性布帛により形成されてなることを特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服。

【請求項 4】

筒状体がポケットの深さ方向には伸縮せず、ポケットの周方向にのみ伸縮することを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服。

【請求項 5】

筒状体が筒状ネットに伸縮性布帛を内装した積層素材により構成されてなることを特徴とする請求項 1、2 又は 4 のいずれか 1 項に記載の携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服。

20

【請求項 6】

筒状体が筒状ネットに防水性布帛を内装した積層素材により構成されてなることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、携帯電話機を収納するための胸ポケットを備えた衣服に関し、特に前屈みになった場合でも、携帯電話機が脱落しない胸ポケットを備えた衣服に関する。

30

【背景技術】

【0002】

従来より、衣服の胸ポケットについて携帯電話機の脱落防止の工夫を施したポケットが種々開発されている。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかし、上記従来の脱落防止の工夫を施した携帯電話機収納用胸ポケットは、未だ完全なものではなく、前屈みになるとポケットから滑り落ちてしまうか、携帯電話機の出し入れに手間が掛かるか、又は、ポケットに大層な工夫を施したもので高い製造コストの要するものであった。

40

【0004】

そこで、本考案者は、鋭意研究を重ね、コストの要しない簡単な改良により、携帯電話機の脱落を完全に防止でき、かつ、携帯電話機の出し入れに手間が掛からない携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服を考案した。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案に係る携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服は、衣服前身頃の胸部にポケットを備えた衣服であって、該ポケットは、衣服前身頃外側の胸部に形成した開口部と、該

50

開口部から衣服の内側に連設された収納部とからなり、該収納部が伸縮性を有する有底の筒状体にて形成され、該筒状体は、携帯電話機を収納するときには筒状体に押し込まなければならない程度にその周長が携帯電話機の周長よりも短く形成され、携帯電話機を収納したときに筒状体の収縮力によって携帯電話機が筒状体に強く把持されて筒状体内でずれ動くことがないように構成し、該筒状体の底部が衣服前身頃内側に直接的に又は間接的に縫着されてなることを特徴とするものである。

【0006】

また、前記の構成における筒状体が筒状ネットにより形成されてなる構成としてもよい。

【0007】

さらに、前記の構成における筒状体が防水性布帛により形成されてなる構成としてもよい。

【0008】

さらにまた、前記の構成における筒状体がポケットの深さ方向には伸縮せず、ポケットの周方向にのみ伸縮する構成としてよい。

【0009】

また、前記の構成における筒状体が筒状ネットに伸縮性布帛を内装した積層素材により構成してもよい。

【0010】

さらに、前記の構成における筒状体が筒状ネットに防水性布帛を内装した積層素材により構成してもよい。

【考案の効果】

【0011】

本考案に係る携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服は、上記のように構成したことにより、携帯電話機の脱落を完全に防止でき、かつ、携帯電話機の出し入れに手間が掛からない利点がある。

【考案を実施するための最良の形態】

【0012】

以下に本考案の好適な実施例を図1～図6に基いて詳細に説明する。

【実施例】

【0013】

図1は携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服の正面図であり、図2は胸ポケットを設けた衣服の内側の要部拡大図であり、図3は胸ポケットに携帯電話機を収納する状態を示す衣服の正面要部拡大図であり、図4は胸ポケットに携帯電話機を収納した状態を示す衣服の正面要部拡大図であり、図5は胸ポケットの断面図であり、図6は携帯電話機を収納した状態を示す胸ポケットの断面図であり、図7は携帯電話機を収納する状態を示す胸ポケット内側の斜視図であり、図8は携帯電話機を収納した状態を示す胸ポケット内側の斜視図である。

【0014】

図1～4において、Aは衣服であり、aは携帯電話機収納用の胸ポケットである。胸ポケットaは、衣服Aの前身頃の胸部に備えられており、図5及び図6に示すように、衣服Aの前身頃の外側の胸部に形成した開口部10と、該開口部10から衣服Aの内側に連設された収納部20とからなる。そして、図3に示すように、開口部10から携帯電話機Bを挿入し、図4及び図6に示すように、収納部20内に携帯電話機Bを収納する。なお、この収納部20は、その底部近傍に紐30の一端を縫着し、紐30の他端を衣服Aの前身頃の内側に縫着することにより固定されており、携帯電話機Bを収納部20内に収納した状態においてぶらつくことがないようになっており、また、携帯電話機Bが収納部20内に深く沈み込むことを防止している。

【0015】

該収納部20は、図7及び図8に示すように、伸縮性を有する有底の筒状ネットよりな

10

20

30

40

50

る筒状体 2 1 にて形成されている。そして、該筒状体 2 1 は、携帯電話機 B を収納するときには、図 7 に示すように、筒状体 2 1 に押し込まなければならない程度にその周長が携帯電話機 B の周長よりも短く形成されている。したがって、携帯電話機 B を収納したときには、図 8 に示すように、筒状体 2 1 の収縮力によって携帯電話機 B が筒状体 2 1 に強く把持されて筒状体 2 1 内でずれ動くことがないように構成されている。なお、この要件を満たすものであれば、筒状体 2 1 は、筒状ネットに限られものではなく、編地や織地の他、防水性布帛や筒状ネットに防水性布帛を内装した積層素材、又は、筒状ネットに伸縮性布帛を内装した積層素材などを使用してもよく、防水性布帛や筒状ネットに防水性布帛を内装した積層素材を使用すれば、携帯電話機に対して防水効果があり、筒状ネットに伸縮性布帛を内装した積層素材を使用すれば、携帯電話機用ストラップの飾り具などがネットに引っ掛かること防止できる。また、筒状体がポケットの深さ方向には伸縮せず、ポケットの周方向にのみ伸縮する構成とすれば、携帯電話機がポケット内において深く沈み込むことがないので、取り出しに便利である。さらに筒状体を構成する伸縮性を有する素材として、ゴム糸などの弾性糸を使用してもよく、その場合には、滑り止め効果があり、さらに携帯電話機の脱落を防止できる。

10

【0016】

上記の実施例は、これに限定されるものではなく、実用新案登録請求の範囲に記載した広範囲な実施形態を包含するものである。

【図面の簡単な説明】

【0017】

20

【図 1】本考案の実施例における携帯電話機収納用胸ポケットを備えた衣服の正面図である。

【図 2】本考案の実施例において、胸ポケットを設けた衣服の内側の要部拡大図である。

【図 3】本考案の実施例において、胸ポケットに携帯電話機を収納する状態を示す衣服の正面要部拡大図である。

【図 4】本考案の実施例において、胸ポケットに携帯電話機を収納した状態を示す衣服の正面要部拡大図である。

【図 5】本考案の実施例における胸ポケットの断面図である。

【図 6】本考案の実施例において、携帯電話機を収納した状態を示す胸ポケットの断面図である。

30

【図 7】本考案の実施例において、携帯電話機を収納する状態を示す胸ポケット内側の斜視図である。

【図 8】本考案の実施例において、携帯電話機を収納した状態を示す胸ポケット内側の斜視図である。

【符号の説明】

【0018】

A・・・衣服

B・・・携帯電話機

a・・・胸ポケット

10・・・開口部

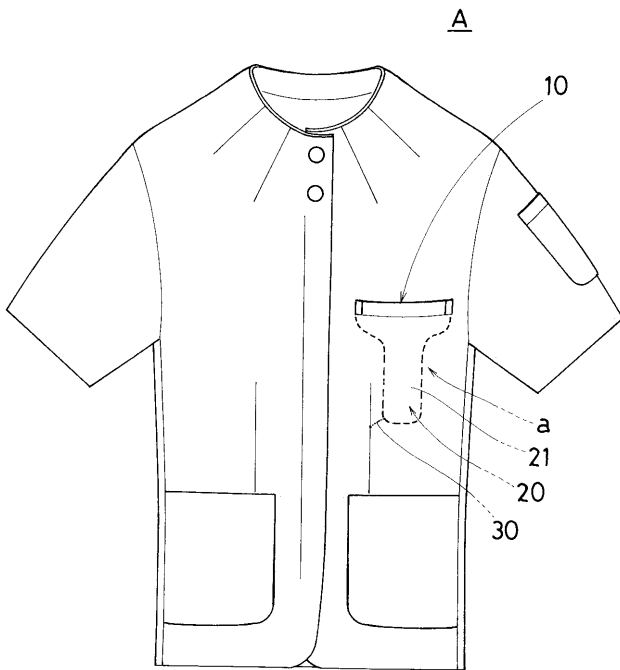
20・・・収納部

21・・・筒状体

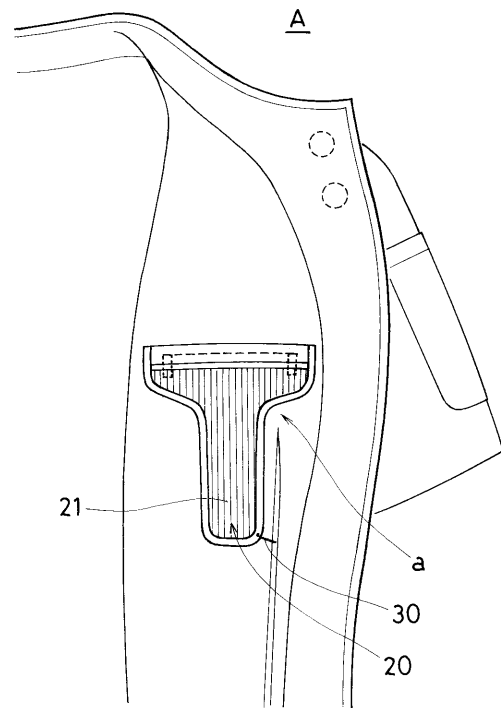
30・・・紐

40

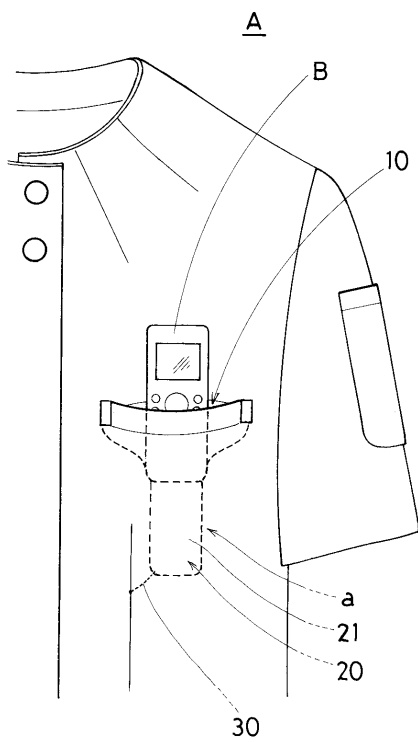
【図 1】



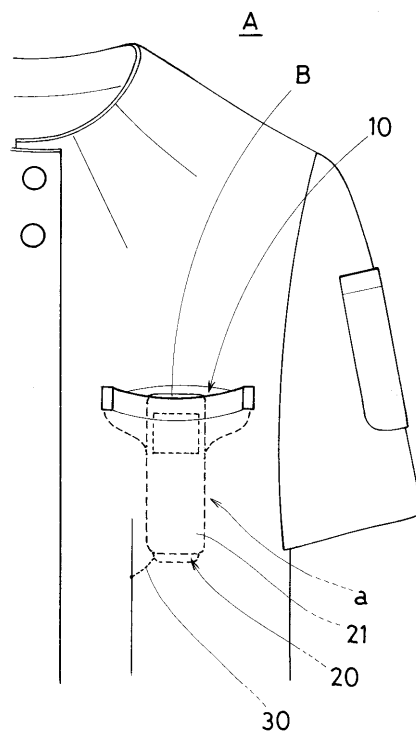
【図 2】



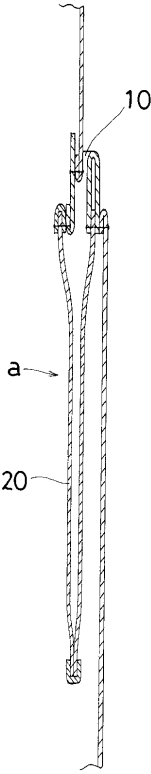
【図 3】



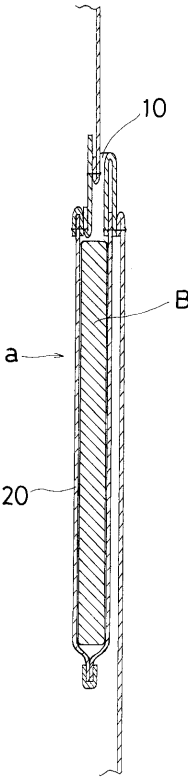
【図 4】



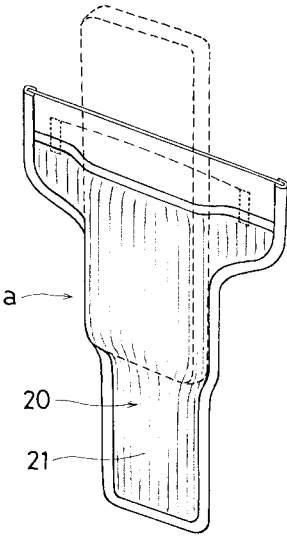
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

